

フラワーネット支持と有孔フィルムによる ハウスネギの軟白法

福島県農業試験場 いわき支場・経営部
平成14～15年度福島県農業試験場試験成績概要
分類コード 03-37-29355900

部門名 野菜－ネギ作業技術、施設資材、所得
担当者 常盤秀夫・石井睦美・岡本和夫

I 新技術の解説

1 要旨

ハウスネギ栽培は、ハウス内に密植し、土寄せをしないでフィルム等で軟白することで白根をつくる栽培方法である。フラワーネット支持と有孔フィルムを用いることで、従来の方法より密植が可能で、高生産性、低コストな軟白方法を開発した(図1、表1)。

- (1) フラワーネット支持による軟白法は、従来の軟白法よりも密植が可能になり、太さはほぼ維持し、収量が16%増加する(表2)。
- (2) この方法をネギ単価316円/kgで試算すると、従来の軟白法よりも農業所得が32%増加し、従来法ではマイナスだった純利益がプラスに転じる(表3)。

2 期待される効果

ネギの端境期をねらった生産技術として、今後生産拡大が期待できる。

3 適用範囲

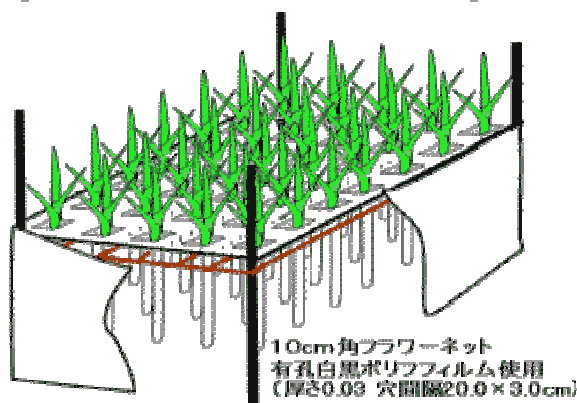
県内全域

4 普及上の留意点

この技術による純利益確保のためには、286.2円/kg以上の販売単価が必要である。なお、想定する経営体は、水稻100a、ハウスネギ4a、露地ネギ20a、その他野菜類(ブロッコリー等)10aとして試算した。

II 具体的データ等

【フラワーネット支持による軟白法】



*フラワーネット支持+有孔フィルムによる軟白

【一条ごと軟白法】

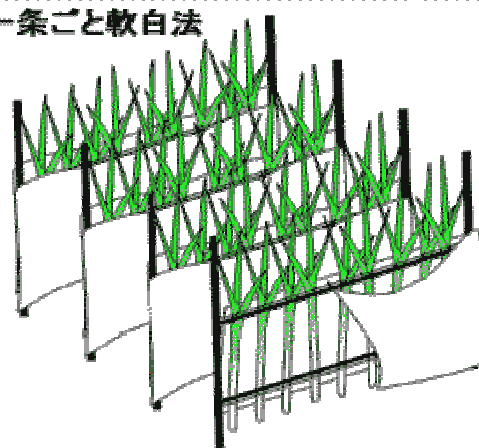


図1 ハウスネギ栽培方法模式図

表1 ハウスネギ各栽培法の作型

	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
フラワーネット支持 軟白法				○ 播種 (チェーンポットに 1〜15粒播種)						△ 機械定植 (条間20cm)			◎ 活着後、フラワーネット張り ネット上に有孔フィルム設置 灌水チューブ設置			生育に連れ ネットを上げる			◇ 軟白 ネットを45cm 高さに固定し、 ベッド側面を フィルムで遮光			□ 収穫 調整		
一条ごと軟白法 (従来の)				○ 播種 (チェーンポットに 1〜15粒播種)						△ 定植 機械定植 (条間30〜 40cm)			▽ 灌水チューブ設置			生育に連れ マシナで 適宜誘引			◇ 軟白 45cm高さまで 誘引したら、 一条ずつフィルム で遮光			□ 収穫 調整		

表2 ハウスネギ各栽培方法の規格別収量(2002)

ハウスネギ栽培方法	2L (kg/a)	L (kg/a)	M (kg/a)	S (kg/a)	計 (kg/a)
フラワーネット軟白法	0	396	558	55	1010
一条ごと軟白法	25	398	355	91	869

品種:春扇

表3 各栽培法の収支試算(単位:円/kg、円/a、%)

	フラワーネット支持 軟白法	一条ごと 軟白法
単価※1	316	316
粗収益	319,160	274,604
費用(経営費)	107,784	114,352
種苗費	3,000	2,457
肥料費	6,000	6,000
農業薬剤費	1,607	1,607
諸材料費※2	22,422	30,250
光熱動力費	937	937
農機具費	7,246	7,246
農用建物費	18,463	18,463
公課諸負担	13	13
流通経費※3	48,090	41,376
農業所得	211,376	160,252
農業所得/1時間	902	735
農業所得率	66.2	58.4
家族労働費※4	184,238	171,269
生産原価※5	292,022	285,621
純利益※6	27,138	-11,017

注 ※1:単価は農業試験場いわき支場の販売価格による

※2:複数年にわたり生産に供する物財は集合資産

とし、単年分を諸材料費に計上した。

※3:流通経費は京浜市場に出荷すると仮定し、
出荷運賃(100円/kg)、出荷販売手数料(10%)、
包装資材費(3.15円/枚)を計上した。

※4:家族労働単価は、福島県非鉄金属製造業最低
賃金をふまえて786円/hrとした。

※5:生産原価=経営費+家族労働費

※6:純利益=粗収益-生産原価

Ⅲ その他

1 執筆者

常盤秀夫、石井睦美、高橋 徹

2 主な参考文献・資料

なし